

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成29年8月31日(2017.8.31)

【公開番号】特開2016-25574(P2016-25574A)
 【公開日】平成28年2月8日(2016.2.8)
 【年通号数】公開・登録公報2016-009
 【出願番号】特願2014-149918(P2014-149918)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/41 (2006.01)
 H 0 4 N 19/13 (2014.01)
 H 0 4 N 19/15 (2014.01)
 H 0 4 N 19/172 (2014.01)
 H 0 4 N 5/232 (2006.01)
 H 0 4 N 19/156 (2014.01)

【 F I 】

H 0 4 N 1/41 B
 H 0 4 N 19/13
 H 0 4 N 19/15
 H 0 4 N 19/172
 H 0 4 N 5/232 Z
 H 0 4 N 5/232 H
 H 0 4 N 19/156

【手続補正書】

【提出日】平成29年7月21日(2017.7.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像データを取得する取得手段と、
 前記取得手段により取得した複数の第一の画像データを夫々異なる画像処理パラメタを用いて画像処理するための第一の処理手段と、
 前記第一の処理手段による前記複数の第一の画像データの処理結果を相互に比較する比較手段と、
 前記比較手段による比較結果に基づいて、前記異なる画像処理パラメタから第二の画像処理に用いる画像処理パラメタを決定する決定手段と、
 前記決定手段によって決定した画像処理パラメタを用いて第二の画像データを画像処理するための第二の処理手段と、
 を有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

前記画像処理パラメタは画像データを符号化するための符号化パラメタを含み、
 前記第一の処理手段及び前記第二の処理手段は、前記符号化パラメタを用いて前記画像データの符号化を行うことを特徴とする請求項1に記載の画像処理装置。

【請求項3】

前記第一の処理手段で画像処理する前記複数の第一の画像データはお互いに視差を有する画像データを含むことを特徴とする請求項1または2に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記第二の処理手段で画像処理する前記第二の画像データは複数の視差を有する前記第一の画像データを合成した合成画像を含むことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

前記第一の処理手段で画像処理する前記複数の第一の画像データは、前記第二の画像データが 2 以上に分割された画像データを含むことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記第二の処理手段で画像処理する前記第二の画像データは、2 以上に分割された複数の前記第一の画像データを合成した合成画像を含むことを特徴とする請求項 5 に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

前記第二の画像データは、前記複数の第一の画像データを含む複数フレームで構成される連写画像データであることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 8】

前記比較手段によって比較する符号化結果には、少なくとも画像データのデータサイズ、圧縮率、処理時間のうちいずれかを含むことを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 9】

前記決定手段が決定した符号化パラメタを記憶する記憶手段と、
前記記憶手段の記憶に基づいて前記第一の処理手段に用いる符号化パラメタを選択する選択手段と、をさらに有すことを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 10】

前記記憶手段は符号化パラメタごとに前記決定手段が決定した回数を記憶することを特徴とする請求項 9 に記載の画像処理装置。

【請求項 11】

画像データを符号化する画像処理装置の制御方法であって、
複数の第一の画像データを夫々異なる画像処理パラメタを用いて画像処理するための第一の処理ステップと、
前記複数の第一の画像データの前記第一の処理ステップによる処理結果を相互に比較する比較ステップと、
前記比較ステップによる比較結果に基づいて、前記複数の画像処理パラメタから第二の画像処理に用いる画像処理パラメタを決定する決定ステップと、
前記決定ステップによって決定した画像処理パラメタを用いて第二の画像データを画像処理するための第二の処理ステップと、
を有すことを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【請求項 12】

請求項 11 に記載の複数のステップをコンピュータに実行させるためのコンピュータプログラム。

【請求項 13】

請求項 12 に記載のコンピュータプログラムを記載したコンピュータ読取可能な記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

しかしながら、従来技術では、複数の画像データを画像処理する場合に、夫々複数の画像データについて画像処理パラメタを用いて画像処理することになる。そのため、画像処理回数が多くなり、処理時間がかかる場合があった。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するために、本発明の画像処理装置は、画像データを取得する取得手段と、前記取得手段により取得した複数の第一の画像データを夫々異なる画像処理パラメタを用いて画像処理するための第一の処理手段と、前記第一の処理手段による前記複数の第一の画像データの処理結果を相互に比較する比較手段と、前記比較手段による比較結果に基づいて、前記異なる複数の画像処理パラメタから第二の画像処理に用いる画像処理パラメタを決定する決定手段と、前記決定手段によって決定した画像処理パラメタを用いて第二の画像データを画像処理するための第二の処理手段と、を有することを特徴とする。